

もしもまた、地震や津波がやってきたら・・・

地震や津波が起こったとき、

どうすれば自分の命を守ることができるのでしょうか。

どうすれば大切な人を守ることができるのでしょうか。

そのためには、この震災でけいけんしたことや副読本などで学んだことをわすれないようにすることが大切です。

しょうらいの自分や大切な人を助けることができるのは、  
これからのあなたです。



震災のときの思いとこれまでのけいけんや学習してきたことなどを手紙に書き、しょうらいの自分に教えてあげましょう。

『5年後の私へ』

ひがしにほんだいしんさいおぼ  
東日本大震災を覚えていますか。2年たった今でも、3月  
11日のことはしっかりと覚えています。大震災で学んだこと、  
それは逃げ道をお母さんと確認すること、津波注意報が出た  
らすぐに山や学校に逃げることです。  
わす  
忘れていませんか。かならず忘れずにいてください。  
かな  
悲しいこと、つらいことがあっても家族で乗りこえてください。  
そして、このことを多くの人に伝えていってください。  
そのことがみんなにわかるようにお願いします。

(「備えの手紙-5年後のわたしへ、家族へ」より) 河北新報社